

mirai saku

ミライ サク



vol.

01

TOKAI-TV
SDGs ACTION
REPORT 2023



編集後記

東海テレビが65周年を迎えた2023年。テレビ局を取り巻く環境は一層厳しさを増し、地域メディアで働く一人一人が、あたりまえを見直し、変化を恐れず、仕事に取り組んだ一年でした。このレポートに記されたのは、東海テレビの従業員が、これまでの経験を踏まえ、未来に向けて取り組んだ一例です。

社会の変化に伴い、テレビ局の役割も変化しつつあります。しかし、地域の皆様との絆を大切にし、地域の未来に笑顔の花を咲かせたいという想いは、開局以来65年間、変わることはありません。

この想いを胸に刻み、これからも地域の皆様に愛され、信頼される地域メディアでありつづけます。それが「東海テレビのサステナビリティ」につながると信じて。

編集・発行

東海テレビ放送株式会社
CSR推進部

〒461-8501 名古屋市東区東桜1丁目14番27号
代表：(052)951-2511

ミライ、咲かそ。



VOC(揮発性有機化合物)成分フリーのインキを使用して印刷しました。

東海テレビ





2023年、東海テレビは開局65周年を迎えました。1958年の開局以来、心豊かな暮らしの手助けをしたいとの強い思いのもと、様々な番組を制作・放送するとともに、「東海テレビ福祉文化事業団」や「東海テレビ国際基金」等を設立し、社会貢献活動に積極的に取り組んできました。

こうした長年の活動に加えて、時代の要請に合わせたテレビ局の社会的責任を果たすため、2022年にはCSR推進部を設立、社内のすべての局にCSR推進担当を配置して、CSR・SDGs活動に取り組んできました。その活動は、社内で徐々に広がりを見せ、今では従業員が自分事として、活動に取り組んでくれています。

そうした活動の積み重ねを、1冊のレポートにまとめました。その多くは、まだ花の種を撒いたに過ぎない活動かもしれませんが、従業員がそれぞれの立場で、「自分にできること」に取り組んだ活動の記録です。

2024年、東海テレビは開局66年目を迎えるにあたり、CSR・SDGs活動のスローガンを「ミライ、咲かそ。」としました。私たちの発想や小さな活動という種から、地域の未来に笑顔という花を咲かせたいとの思い、そして地域の皆様との絆を大切に、持続可能な社会をともに目指すという、メディア企業としての決意を込めました。東海テレビのキャラクター「イチー」はお花畑から来た妖精です。

このレポートは、東海テレビのCSR・SDGs活動を紹介するとともに、私たちの思い、決意を記したものです。東海テレビはこれからも、社会に貢献し続ける企業として、歩み続けたいと思います。

東海テレビ放送株式会社
代表取締役社長

小島 浩資



ミライ、咲かそ。宣言



地域とともに

地域のみなさまに、愛され、信頼される放送局でありつづけられるよう、常に暮らしに寄り添う企業でありつづけます。



ミライの子どもたちへ

ミライを担う子どもたちに、よりよい社会や環境を残していけるようCSR・SDGs活動に力を入れていきます。



文化を通して

暮らしの中に文化的な価値や楽しさを感じてもらえる活動を心がけ、笑顔の花咲くお手伝いをしていきたいと思っています。

東海テレビ従業員の「シゴト」と「思い」が詰まった一冊です。



Photo : 2023.7.5 CSR推進チーム キックオフミーティングにて

CSR推進チーム

CSR活動の軸となっているのは各部局から集められた23名の部署横断チーム。多様な人材が集まることで、より豊かなアイデアを創出。それぞれの経験、知識を生かし様々な企画を形にしています。

1年間の主な取り組み一覧

通年

- イッチーみらいシート
 - イッチー文庫
 - 社内見学会
 - ペットボトルキャップチャレンジ
- など番組・配信・イベント等を通し、様々な活動を実施しました。



2023年

- 5月 27日(土) ● 出張授業スタート(滝学園土曜講座)
- 30日(火) ● 530ごみゼロ運動
- 6月 8日(木) ● 東海テレビ国際基金 多文化交流プログラム(落語文化体験)
- 7月 27日(木) ● 2023年度民放連メディアリテラシー活動助成事業「Z世代と考える! 未来のTVスクール」
- 8月 6日(日) ● ふく天夏休み企画「福島気象予報士のお天気教室」
- 7日(月) ● FNSチャリティ夏の募金活動 花の日サークルフラワー「チャリティローズ」
- 10日(木) ● SDGs絵本「イッチー!キミのすきないろ」配信スタート
- 10月 24日(火) ● 東海テレビ国際基金 多文化交流プログラム(アートプログラム)
- 11月 8日(水) ● 第42回「東海テレビ 愛の鈴号」贈呈式
- 14日(火) ● 第55回東海テレビ文化賞顕彰式
- 22日(水) ● 秋のごみゼロ アクション
- 24日(金) ● こども職場参観企画 東海テレビ キッズデー
- 12月 5日(火) ● 第41回東海テレビひまわり賞顕彰式



2024年

- 2月 14日(水) ● FNSチャリティ募金活動 フラワーバレンタイン「チャリティローズ」

など

わたしたちのスマールアクション

media



番組・配信・イベント
などでの取り組み

- 01: ミライノニュース / 報道キャンペーンCM / ドキュメンタリー映画「チョコレートな人々」
- 02: スイッチ!ファーム / SDGs実践中 / テレビCM「優しいAI ~愛知県 持続可能な農業への現在地~」
- 03: タイチサン!
- 04: 配信 Locipoや東海テレビのYouTube公式チャンネルで配信
- 05: イッチーみらいシート
- 06: アナウンサー絵本朗読イベント
- 07: 社内見学会
- 08: 出張授業
- 09: 東海テレビ国際基金 多文化交流プログラム



SDGメディア・コンパクト

東海テレビは国連が世界の報道機関に協力を呼び掛けている「SDGメディア・コンパクト」に2021年1月に署名し、メディアとしてSDGsの推進に努めることを約束しています。



FNS共通ブランドマーク

フジテレビ系列の共通ブランドマークを掲げ、連携しながら持続可能な社会に向けた発信・取り組みを行っています。



名古屋5局合同プロジェクト「SDGs実践中」

名古屋の民放5局が力を合わせ、様々な「SDGs実践中」アクションを各局の番組で紹介したり、各局が実施するイベントにブースを出展しています。

01

誰もが幸せを感じられるような社会をつくるために。



ミライノニュース

夕方の報道番組『NEWS ONE』のコーナー企画として、持続可能な開発目標に向けて、未来を見据えた活動をしている人物、団体、企業などを紹介しています。2020年12月に放送開始し、月一回ペースの放送を続け、2024年1月で35回目となりました。

報道キャンペーンCM

2011年から始めたドキュメンタリースタイルのCM。15秒～60秒という短い時間で、様々な社会問題を取り上げ、世の中に「考えるきっかけ」を投げかけています。主な作品は「見えない障害と生きる。」(2019年 日本民間放送連盟賞最優秀賞など)、「ジェンダー不平等国で生きていく。」(2021年 日本民間放送連盟賞最優秀賞など)、「生理を、ひめごとにしない。」(2022年 日本民間放送連盟賞最優秀賞など)



ドキュメンタリー映画「チョコレートな人々」

愛知県豊橋市のチョコレート会社「久遠」の事業を通じ、障害者やLGBTQなど多様な人たちが生きがいを持って働く理想と現実を描きました。(2022年 日本民間放送連盟賞グランプリ)



伏原 健之
報道局

テレビ局の仕事は「世のため、人のため」

SDGsやCSRという言葉が流行り始めたころ、「何を今さら」と、少し違和感がありました。そもそも私たちテレビ局の仕事は「世のため、人のため」にやるもので、今風に言えば「持続可能な社会の実現」を目指してニュースや番組をつくってきたと思っています。夕方の『NEWS ONE』のコーナー企画として始まった『ミライノニュース』は、2024年1月で35回目となりました。SDGsキャンペーンと銘打ってはいますが、本質は“人”を描くことだと思っています。地域の課題に目を向け、未来を見据えた取り組みをしている“人”を応援したいと思っています。ニュース、ドキュメンタリー、キャンペーンCM、WEB配信、どんな形であれ、これからも地域の人たちとともに、誰もが幸せを感じられるような社会をつくるために放送を続けていきます。

02

視聴者といっしょに持続可能な農業畑の野菜作りを始めました。



スイッチ!ファーム

平日朝の情報番組「スイッチ!」の10周年企画として、健康で豊かな暮らしを目指し、家でも簡単にできる家庭菜園や畑での野菜の育て方を紹介しました。家庭菜園が趣味のMC速水アナが、野菜作りのプロ・カーメン君と2022年9月から始め、視聴者といっしょに、夏野菜の収穫体験をしたり、収穫した秋野菜の特製カレーや冬野菜の朝ごはん(豚汁・菜飯・漬物)を頂きました。



SDGs実践中

名古屋の民放5局がリレー形式でお伝えする「SDGs実践中」を「スイッチ!」で定期的に放送。MC鈴木アナが東海地方の環境に優しい新たな取り組みを中心に、使い古した鍋を新しい鍋に生まれ変える企業や廃棄物を再利用する店などを紹介しました。



テレビCM

「優しいAI ~愛知県 持続可能な農業への現在地~」

「AI」が人の手に変わることによって効率的で持続可能な農業を実現できますが、農業は「AI」の力だけではなく、安全で美味しい農作物を作る生産者の「愛(AI)」も必要という思いを込めました。「AI」と「愛」の融合で「愛知」が農業の未来を作ろうとしています。(2023年 日本民間放送連盟賞優秀賞)



服部 篤幸
生活情報部

視聴者とより深く関わり、親しまれる番組を目指して!

私は畑も野菜作りも初心者です。視聴者の皆さんに、やさしく、簡単な育て方を伝えるだけでなく、失敗例も忠実に見せ、害虫・害獣対策まで紹介しています。速水アナが真剣に、土壌や野菜の成長と向き合う姿をはじめ、収穫した時の楽しさ、失敗した時の悔しさ、収穫した野菜を自ら調理して食べる喜びなどから、大地の恵みへの感謝を感じてもらえたらいいなと思います。



タイチサン!

日曜正午の情報番組「タイチサン!」内で、MC国分太一さんが東海地方で知り合った皆さまと力を合わせて、夢だった“ツリーハウス”を作ることに。場所は、TOKIOのメンバーが手がける福島県の「TOKIO-BA」。自然を楽しみながら学べるこの場所に、東海地方の廃材やTOKIO-BAの間伐材などを使ってツリーハウスを手作り。「ふるさとイッチー祭2023」の来場者にも廃材ペイントを手伝っていただきました。東海地方と福島をつなぐ、1年以上をかけた一大プロジェクトは現在も進行中です。



テレビ番組制作に携わる中で感じる、「作ったものが一度きりの放送で終わってしまう」悩み。それを何とか解決できないかと、国分太一さんとツリーハウスを作りました。テーマは楽しんで学べる「エデュテイメント」。放送後も、ツリーハウスを訪れた人たちが自然の中で遊ぶ楽しさや自然との共存について感じてもらえたら嬉しいです。

嶋崎 悠介 制作部



配信 Locipoや東海テレビのYouTube公式チャンネルで配信

「ふく天」夏休み企画 福島気象予報士のお天気教室 2023年8月6日(日)

天気まつわる実験やクイズを交えながら、地球温暖化などについて考えるイベントをリアルと配信のハイブリッドで開催。



オリジナル絵本コンテンツ「イッチー!キミのすきないろ」

イッチーが主人公の絵本コンテンツ。「多様性」をテーマにしたかわいらしく優しいタッチの作品に仕上がりました。

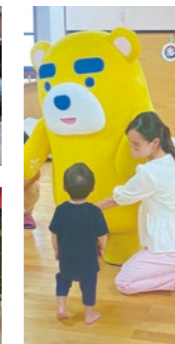
「福島気象予報士のお天気教室」では、東海テレビのCSR活動としては初となるライブ配信を実施。絵本コンテンツは連動した紙芝居も制作するなど多角的なリーチで子どもたちの笑顔が広がってほしいと願い、尽力しました。

勅使河原 由佳子
CSR推進部



アナウンサー絵本朗読イベント

子育て支援センターや保育園、各種イベント会場で東海テレビアナウンサーらの絵本朗読イベントを実施。オリジナル配信コンテンツ「イッチー!キミのすきないろ」の紙芝居を披露したり、音楽の生演奏に合わせて朗読するなど、子どもたちの笑顔花咲く時間を創出しています。



- 2023年
- 4月27日 ひがしうら総合子育て支援センター(うららん)
 - 5月31日 永信保育園
 - 8月27日 昭和三区役所(昭和三区男女平等参画推進事業)
 - 10月 8日 「なごやっ子読書イベント」名古屋市公会堂
 - 11月 11日 マ・メール如意申保育園
 - 12月 15日 東山児童老人福祉センター(大府市)
 - 12月 17日 プライムツリー赤池
- 2024年
- 2月 17日 HITOMIホール
 - 2月 23日 江南市立図書館 など

同じ空間を共有することで生まれる“子どもたちのきらきらとした好奇心に満たたまなざし”や、お父さん・お母さん達をはじめとする“地域の皆さんとの交流”に喜びを感じています。今後もこの活動を通じて、ささやかでも東海テレビに親しみを持っていただき、子どもたちの情操を育むお手伝いができれば嬉しいです。

浦口 史帆 アナウンス部



イッチーみらいシート

大人になっても思い出す特別な1日を子どもたちに体験してほしい。そんな思いを込めて、開局65周年の今年度、イッチーから未来へつなぐ子どもたちを無料招待する企画「イッチーみらいシート」をスタート。国内外で活躍する世界一流の演奏家によるステージを提供している東海テレビ主催「スーパークラシックコンサート」全5公演を対象に、東海地区で暮らす子どもたちを50名招待しました。

- 5月27日(土)
セクスイハイム presents
ヴァシリー・ペトレニコ指揮
ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:辻井伸行
- 5月29日(月)
ストラディヴァリウス
サミット・コンサート 2023
- 10月21日(土)
クラウド・マケラ指揮
オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:辻井伸行
- 11月24日(金)
大和証券グループ Presents
アラン・ギルバート指揮
NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団
ピアノ:反田恭平
- 12月20日(水)
佐渡裕指揮
シエナ・ウインド・オーケストラ
《プラスの祭典2023》



公演を重ねるごとに認知も高まり、5公演で300件を超える応募をいただきました。いつも高尚な空気をまとうクラシックコンサート…当選した子どもたちが、“おめかし”をして、わくわくと、少しの緊張も混じった表情で会場に入ってくる姿がとてもほほえましかったです。一人でも多くの子どもたちの心に残るよう、継続していきたい活動です。

平岡 櫻子 事業部



社内見学会

小学生(高学年)・中学生・高校生を対象に社内見学会を実施。平日午前中の生情報番組「スイッチ!」のスタジオや副調整室、美術倉庫などを案内しながら、テレビ番組が放送されるまでの仕組みや正しい情報を伝えることの大切さ、テレビの仕事への思いなどを伝えています。また、スタジオセットのリユースなど番組制作におけるSDGsの取り組みも紹介しています。尚、見学は感染予防など安全のため、少人数単位で臨んでおります。



2023年

- 6月 6日 桑名市立明正中学校
- 6月 8日 四日市市立富洲原中学校
- 6月27日 愛知教育大学附属名古屋中学校
- 8月 8日 名古屋市立中央高等学校
- 8月25日 愛知県立一宮南高等学校
- 9月 7日 高山市立宮中学校
- 11月 9日 揖斐川町立春日小学校
桑名市立長島中学校
- 11月29日 あま市立美和中学校



2024年

- 1月18日 名古屋市立一色中学校
名古屋市立港明中学校
- 1月25日 名古屋市立八王子中学校
- 1月26日 名古屋市立城山中学校
- 2月 2日 小牧市立光ヶ丘中学校 など

応募してきてくれる生徒たちの意見を直接聞くようにしています。何ととっても、驚きわくわく感で見てもらったときの生徒の笑顔がたまりません。SNS世代の青少年層にこそ、テレビ局に直に触れてもらいたいと思っています。



谷口 雄二 CSR推進部

出張授業

東海地方の小学校・中学校・高校などでテレビ番組の制作過程や放送の役割、メディアリテラシーなどを伝える出張授業を実施。東海テレビアナウンサーや番組ディレクターなどが講師となり、未来を担う子どもたちと対話しながら、楽しく学べる授業を展開しています。



東海テレビ国際基金 多文化交流プログラム

東海地方では多くの外国籍の学生が学んでいます。国際教養科や多国籍の生徒、障がいを持つなど多様な学生らが様々な学校から集い、地域の歴史文化やSDGsについて、芸術体験やワークショップなどを行い、相互理解を深め豊かな出会いに結び付く交流プログラムを展開。2023度のテーマ：「岐阜発祥の落語文化」「アップサイクル」



みんなと一緒にスモールアクション

company



企業としての取り組み

- 01：ペットボトルキャップチャレンジ
- 02：地域清掃活動
- 03：東海テレビ 愛の鈴号
- 04：FNSチャリティキャンペーン
- 05：子ども職場参観企画 東海テレビ キッズデー ほか
- 06：防災備蓄の活用 JEFODonationの取り組み
- 07：東海テレビひまわり賞
- 08：東海テレビ文化賞
- 09：東海テレビ放送コンプライアンス宣言

ペットボトルキャップチャレンジ



©JCV

ペットボトルのキャップを従業員から集め、世界の子どもたちにポリオワクチンを寄付する活動を実施。2021年1月からスタートしたこの活動は、これまでにポリオワクチン339人分に相当する約29万個を回収。11月10日(金)には認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」より寄付活動に対して表彰を受けました。最近では地元からも「玄関で通りすがりにみて…」と有志で集めたキャップを提供してくれる企業も出てきました。秋開催の「ふるさとイッチー祭2023」などでは会場内でペットボトルキャップのアップサイクルワークショップを展開。「リサイクルの可視化」のわかりやすさと完成品のユニークさから人気となり、親子連れを中心に好評を博しました。

地域清掃活動

FNS系列の全国局で一斉に行うSDGs目標11・「住み続けられるまちづくりを」に直結する行動として、5月30日(5ご・3み・0ゼロ)にちなんで「ごみゼロの日」の地域清掃を実施しました。東海テレビでは従業員や名古屋市立東桜小学校の児童など計104人が参加。また、11月22日には「秋のごみゼロ アクション」として東海テレビに加え、グループ会社(東海放送会館・東海テレビ事業・東海テレビプロダクション)や東海ラジオから総勢120人が清掃活動に参加し、地域就業者の一員として地域貢献活動に取り組みました。参加した方々は、普段使わないトンガや竹ぼうきを手「街をキレイ」にすることに爽やかな汗をかき、すがすがしい思いを体感していました。



東海テレビ 愛の鈴号

東海テレビと東海テレビ福祉文化事業団は、障がい乗り越え自立を目指す人たちに役立ててもらうため、毎年、社会福祉に携わっている東海3県1市の団体に軽車両「愛の鈴号」をお贈りしています。2023年度は11月8日、東海テレビにおいて贈呈式が行われました。「愛の鈴号」の贈呈は、皆様から寄せられた義援金を元に1982年から続けており、今年度で42回目。贈呈車両数は、今回の4台を合わせると292台となりました。



東海テレビ福祉文化事業団は、東海地方の社会福祉の増進と向上に少しでもお役に立ちたいとの願いから、1979年に東海テレビ放送が母体となって設立した社会福祉法人です。また、東海テレビと東海テレビ福祉文化事業団は、年間を通じて『愛の鈴しあわせキャンペーン』を展開しており、お寄せいただきましたご浄財は障害者福祉事業、老人福祉事業、児童福祉事業、そして、当事業団が主催する愛の鈴事業などの事業に活用させて頂いております。また、被災地に義援金を贈るなどの支援にも力を入れています。



FNSチャリティキャンペーン



1974年の設立以来、ユニセフとともにフジテレビ系列28社が協力し、国際社会への貢献活動の一つとして、厳しい環境で暮らす世界の子どもたちのために支援を続けています。50周年となる2023年度は、モンスーンによる洪水被害により、国土の3分の1が水没したパキスタン・イスラム共和国を支援しました。世界各地の異常気象、新型コロナウイルスをはじめとする感染症問題、激変する世界情勢の中で支援を必要とする子どもたちへ寄付を届けています。2023年度は、愛知の“規格外花”を利用したフラワーチャリティイベントを、花の日とバレンタインデーに展開しました。愛知県は日本一の花の産地であり、残念ながら規格外の花も多く存在します。地域の学生やタレントと協力したフラワーチャリティ、そして事業催事会場での募金活動も実施しています。



令和6年 能登半島地震被災地救援 「サザエさん募金」を実施

フジネットワークでは、石川県をはじめ被害にあわれた方々の支援のために、「フジネットワーク サザエさん募金」を実施しました。

(2024年1月5日~2月15日)
義援金は、全額が日本赤十字社を通じて被災者に送られました。



©長谷川町子美術館

こども職場参観企画 東海テレビ キッズデー ほか



全ての従業員がこれまで以上に活躍でき、輝ける職場づくりを目指します。

『こども職場参観企画 東海テレビ キッズデー』の実施

愛知県が11月27日を「あいち県民の日」、県内の多くの市町村が11月24日を公立学校における「県民の日学校ホリデー」と設定しました。これを受けて、共働き世帯の子どもたちの居場所確保の他、子どもたちの勤労観・職業観の育成、家族内のみならず社員間の相互理解を深めることを目的として、従業員の子どもたちが職場見学する『こども職場参観企画 東海テレビ キッズデー』を実施しました。(女性活躍推進チーム)

従業員にとって働きやすい環境の整備

アフターコロナにおいても、育児・介護との両立など多様な働き方を可能とするために「テレワーク勤務規程」を新設。配偶者の転勤や家族の介護といった、やむを得ない事情により退職せざるを得ない従業員に対して、再入社之机を与える「ジョブリターン制度」を導入しました。



防災備蓄の活用 JEFODonationの取り組み

賞味期限が近づいた防災備蓄食品を、全国の子ども食堂や生活支援などに必要なタイミングで必要なものを提供できるよう双方の情報をマッチングし計画的に配分・配送される活動を実施しています。今後も防災啓発や福祉活動へ結びつく社会貢献の取り組みを推進します。

協力：名鉄協商株式会社・公益社団法人 日本非常食推進機構(We Act)



活用団体様からお礼のコメント

公益財団法人 東京都公園協会 汐入公園サービスセンター
「非常食届きました。11月5日予定の防災フェスタのイベントにて活用させていただきます。ありがとうございました。」

岡崎市役所

「フードドライブで使用させていただきました。ありがとうございました。」

みんなこ

「10月7日のパントリーでお渡しさせていただきました。本当に助かります。」

ぼたんこども食堂

「学生と子どもたちにお配りし、残りは支援要請に応じて順次配布していきたいと思っております。皆さん喜んでいました。特に学生さんは、忙しい朝に器に入れてチンして食べられる豚汁は嬉しいというっていました。」

東海テレビひまわり賞

東海テレビと東海テレビ福祉文化事業団は、身体の不自由を克服して自立し、社会に参画して他の模範となって活躍している身体障がい者を顕彰し、広く地域における障がい者を励ますとともに、一般の理解を深め、社会福祉の向上と増進に寄与することを目的として、毎年「東海テレビひまわり賞」を顕彰しています。「東海テレビひまわり賞」は、さんさんと輝く太陽に向かって、たくましく咲くひまわりの花に託して名付けたものです。1983年、東海テレビ放送開局25周年を記念して福祉向上の一助にと設け、今年度で41回目を迎えました。顕彰者は今年度の4名を加えて、273名を数えることとなりました。



東海テレビ文化賞

東海テレビは、東海地方に在住または関係が深く、多年にわたり社会、文化、学術、産業などの各分野で功績のあった人や団体に「東海テレビ文化賞」を顕彰しています。1968年、東海テレビの開局10周年と明治百年の記念行事の一環として制定され、55回目となる今年度はからくり人形師の玉屋庄兵衛さん(愛知県)ら3名と1団体に贈られました。これまで198名38団体を顕彰しています。



東海テレビ放送コンプライアンス宣言

東海テレビ放送は、放送事業の高い公共性や社会的使命を常に自覚しながら、企業倫理を守り地域社会に貢献することを目指します。役員および従業員は地域の皆様からの厚い信頼と支持を得るため、諸法令や社会規範を遵守するコンプライアンス経営を推進します。

